

第10回

The 10th Depression Rework Research Association Annual Meeting

うつ病リワーク研究会 年次研究会

プログラム・抄録集

力動的理解に基づくチーム医療

会期

2017年
4月22日(土)・23日(日)

会場

福岡電気ビルみらいホール
〒810-0004 福岡県福岡市渡辺通り2-1-82

当番
世話人

徳永 雄一郎
医療法人社団 新光会 不知火病院

第10回 The 10th Depression Rework Research Association Annual Meeting

うつ病リワーク研究会 年次研究会

プログラム・抄録集

力動的理解に基づくチーム医療

会期

2017年
4月22日(土)・23日(日)

会場

福岡電気ビルみらいホール
〒810-0004 福岡県福岡市渡辺通り2-1-82

当番
世話人

徳永 雄一郎
医療法人社団 新光会 不知火病院

交通アクセス

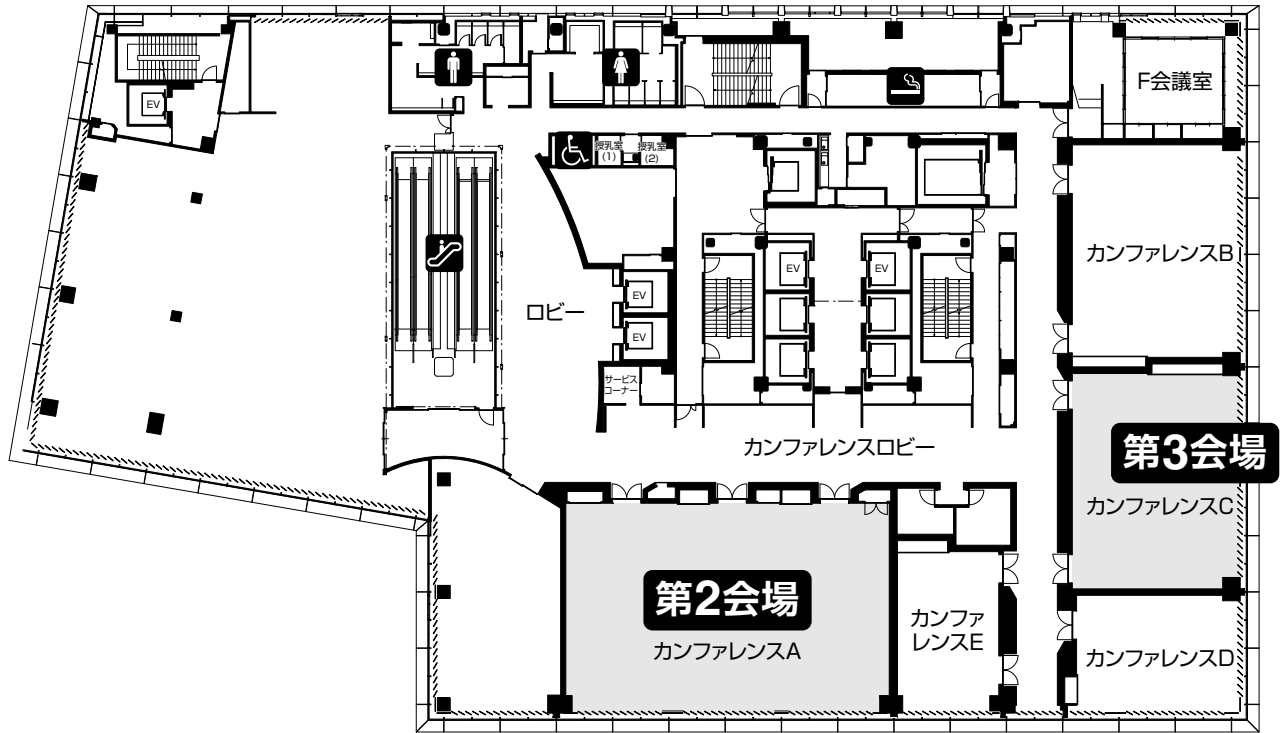


- バス JR博多駅前A(薬院・城南線方面)より乗車 →「渡辺通1丁目」降車すぐ
天神大丸前バス停「4C」より乗車 →「渡辺通1丁目」降車すぐ
- タクシー 天神より約5分
JR博多駅より約7分
福岡空港より約25分
- 西鉄電車 西鉄「薬院駅」より徒歩7分
- 地下鉄 七隈線「渡辺通駅」(電気ビル本館地下2階へ直結)
※七隈線は空港線、箱崎線とは接続していません。

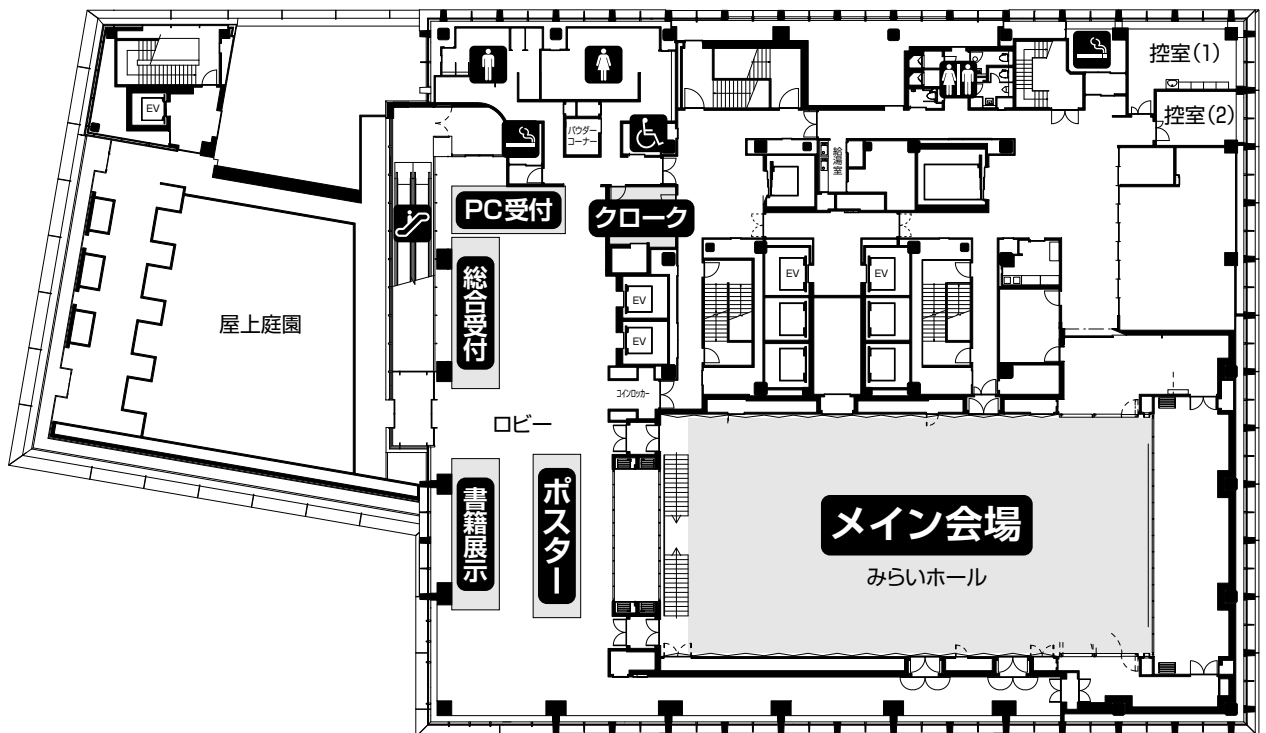
会場案内図

電気ビル 共創館 / みらいホール

3F



4F



1日目 2017年4月22日(土)

	メイン会場 4F みらいホール	第2会場 3F カンファレンス室A	第3会場 3F カンファレンス室C	ポスター会場 みらいホールホワイエ
9:00	9:00～ 開 場 (受付開始)			9:00～10:00 ポスター 準備
	9:30～9:45 開会、当番世話人挨拶			
	9:45～9:55 来賓挨拶 大野 裕			
10:00	10:00～12:00 シンポジウム 1 リワーク患者を細かく分析し、 治療に結びつける	10:00～12:00 シンポジウム 1 モニター会場		10:00～13:30 ポ ス タ ー 掲 示
11:00	座長：西村 良二 三木 秀樹 シンポジスト：五十嵐 良雄 横山 太範 松原 六郎 徳永 雄一郎			
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 1 精神疾患患者が働くために 我々ができること ～うつ病と統合失調症治療の観点から～ 演者：堀 輝 共催：Meiji Seika ファルマ(株)	12:00～13:00 ランチョンセミナー 2 復職に向けたうつ病治療では、 うつ病の真の寛解が絶対不可欠 ～当院におけるリワーク準備入院と リワークデイケアの取り組みを通じて 演者：信田 広晶 共催：大塚製薬(株)		
13:00	13:00～13:20 総 会			
14:00	13:20～15:50 シンポジウム 2 成人後の発達障害の 就労継続支援 ～手引きの活用、特性の確認、 他の支援との使い分け 座長：秋山 剛 シンポジスト：加藤 進昌 神尾 陽子 福田 真也 秋山 剛	13:20～15:50 シンポジウム 4 復職困難事例について 考える 座長：入澤 誠 中垣 朝子 コメンテーター：片伯部 廣太郎 シンポジスト：岡 敬 高田 和秀 酒向 雄介 河野 久仁子		13:30～14:15 一般演題 ポスター 14:15～19:30 ポ ス タ ー 掲 示
15:00				
16:00	15:50～17:50 シンポジウム 3 産業医連携における課題 座長：堀 輝 木下 智治 シンポジスト：森田 哲也 市来 真彦 松本 桂樹 松下 満彦	15:50～17:50 専門職シンポ OT リワークにおけるOTの眼 ～その瞬間を捉える～ 座長：早坂 友成 高田 和秀 シンポジスト：松田 匡弘 田尻 威雅 岡崎 渉 徳永 直也	15:50～17:50 専門職シンポ PSW 精神保健福祉士の 役割とリワーク 座長：横山 正幹 シンポジスト： 内藤 親市 牧 宏一 佐藤 圭	
17:00				
18:00	18:00～19:30 懇 親 会 PRONTO 福岡電気ビル北館店			

2日目 2017年4月23日(日)

	メイン会場 4F みらいホール	第2会場 3F カンファレンス室A	第3会場 3F カンファレンス室C	ポスター会場 みらいホールホワイエ
9:00				9:00～13:00
9:30～12:00	<p>特別セッション これまでのリワーク これからのリワーク</p> <p>座長：五十嵐 良雄 森田 哲也</p> <p>シンポジスト：有馬 秀晃 福島 南 牧 宏一 大木 洋子</p>	<p>9:30～12:00</p> <p>シンポジウム 5 力動的理解に基づく チーム医療</p> <p>座長：永井 宏 松下 満彦</p> <p>シンポジスト：要 齊 縄田 秀幸 長久保 勇輔 嘉嶋 領子</p>	<p>9:30～12:00</p> <p>専門職シンポ CP 心理職の視点で 考える復職支援の “内”と“外”</p> <p>座長：片桐 陽子 大仁田 広恵</p> <p>シンポジスト： 坂井 一史 坊 隆史 日高 崇博</p>	ポ ス タ ー 掲 示
10:00				
11:00				
12:00	<p>12:00～13:00</p> <p>ランチョンセミナー 3 うつ病患者の社会復帰を目指した より現代的な治療の重要性</p> <p>演者：川寄 弘詔</p> <p>共催：持田製薬(株)、田辺三菱製薬(株) 吉富薬品(株)</p>	<p>12:00～13:00</p> <p>ランチョンセミナー 3 モニター会場</p>		
13:00	<p>13:00～15:00</p> <p>特別講演 就労者の自殺予防について</p> <p>衛藤 暢明</p> <p>座長：義村 勝</p> <p>コメンテーター： 田中 理香 光永 享央</p>	<p>13:00～15:00</p> <p>シンポジウム 6 特化したリワークプログラム</p> <p>座長：福島 南 片桐 陽子</p> <p>シンポジスト：内野 俊郎 小林 真実 澤田 梓穂 高橋 望</p>	<p>13:00～15:00</p> <p>専門職シンポ Ns 役割の明確化</p> <p>座長：丁野 雪子 松尾 好子</p> <p>シンポジスト： 飯島 優子 小泉 恭子 中村 明子 中崎 正一</p>	13:00～14:00 ポ ス タ ー 撤 去
14:00				
15:00	<p>15:00～15:30 当番世話人講演 軽症化と多様性から見たうつ病リワーク</p> <p>徳永 雄一郎</p> <p>座長：五十嵐 良雄</p>			
15:30～	閉会式			
16:00				

プログラム

1日目 4月22日(土)

9:30～9:45

開会、当番世話人挨拶

メイン会場(4F みらいホール)

当番世話人：徳永 雄一郎(医療法人社団 新光会 不知火病院)

9:45～9:55

来賓挨拶

メイン会場(4F みらいホール)

大野 裕 一般社団法人 認知行動療法研修開発センター 理事長

10:00～12:00

シンポジウム1

メイン会場(4F みらいホール)

[リワーク患者を細かく分析し、治療に結びつける]

座長：西村 良二(福岡大学医学部 総合医学研究センター 教授)

三木 秀樹(医療法人栄仁会 宇治おうばく病院 院長)

S1-1 診断のためのリワークプログラムでの工夫

○五十嵐 良雄

メディカルケア虎ノ門

S1-2 最良の医療

○横山 太範

さっぽろ駅前クリニック北海道リワークプラザ

S1-3 リワーク活動内の様子などをもとに特徴や課題を分析する

○松原 六郎

公益財団法人松原病院

S1-4 精神疾患の軽症化から考える復職支援

○徳永 雄一郎

医療法人社団 新光会 理事長、不知火病院 院長

12:00～13:00

ランチョンセミナー1

メイン会場(4F みらいホール)

精神疾患患者が働くために我々ができること
～うつ病と統合失調症治療の観点から～

堀 輝 産業医科大学医学部 精神医学教室 講師

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

[復職困難事例について考える]

座長：入澤 誠(医療法人浜江堂 油山病院)

中垣 朝子(医療法人社団 新光会 不知火クリニック)

コメンテーター：片伯部 廣太郎(財団法人 日本予防医学協会附属診療所 ウェルビーイング博多 所長)

S4-1 医療リワークにおける復職困難な事例の要因と個々の対応について○岡 敬¹⁾²⁾、清水 聡美¹⁾、垣田 和美¹⁾、長井 景子¹⁾、能勢 隆宏¹⁾、下田 和紀¹⁾

1) 特定医療法人十全会 十全病院、2) 特定医療法人十全会 Jクリニック

S4-2 復職困難例について考える

○高田 和秀

医療法人社団 新光会 不知火病院 医師

S4-3 復職困難事例を考える ～復帰後に長く働き続けてもらうために～

○酒向 雄介

株式会社 構造計画研究所 人事総務部 人事総務室長

S4-4 わが社のメンタルヘルス対策における復職支援 ～産業看護職の立場から～

○河野 久仁子

パナソニック健康保険組合 パナソニックシステムネットワークス(株)

佐賀事業場 健康管理室 主務

[産業医連携における課題]

座長：堀 輝(産業医科大学医学部 精神医学教室)

木下 智治(医療法人社団 新光会 不知火病院)

S3-1 産業医連携における課題 ～産業医の立場から～

○森田 哲也

株式会社リコー グループ総括産業医

S3-2 労働者のメンタル・サポートをめぐる諸問題

～臨床医と産業医それぞれの経験を通してあぶり出されたこと～

○市来 真彦

東京医科大学 精神医学分野、東京医科大学病院他 産業医

S3-3 外部 EAP 機関のとりくみ ～何のために連携か～

○松本 桂樹

株式会社ジャパン EAP システムズ 代表取締役

S3-4 産業医であることと、主治医であることの難しさ○松下 満彦¹⁾²⁾、高田 和秀¹⁾²⁾、中野 心介¹⁾²⁾、島松 まゆみ²⁾、川崎 弘詔²⁾、
徳永 雄一郎¹⁾

1) 医療法人社団 新光会 不知火病院、2) 福岡大学医学部 精神医学教室

- P-19** リワークプログラムにおける集団音楽療法の取り組み
○山本 智美¹⁾、大橋 昌資¹⁾、藤原 マリ子¹⁾、藤原 茂樹²⁾
1) 響ストレスケア～こころとからだの診療所、2) 藤原医院
- P-20** リワークにおける全身持久力の向上と、転帰に影響する要因の検討
○赤木 祐太郎¹⁾、森脇 正詞¹⁾、大嶋 淑子¹⁾、玉腰 聡樹¹⁾、田中 伸明¹⁾、佐藤 奈美¹⁾、磯谷 さよ¹⁾、都築 祐子¹⁾、三島 健太郎²⁾、松平 有加²⁾、代田 渉¹⁾、藤田 潔²⁾
1) 医療法人静心会 藤田メンタルケアサテライト徳重北リワークセンター、
2) 医療法人静心会 桶狭間病院 藤田こころケアセンター
- P-21** テキストマイニングを用いた再休職予防レポートの分析
～利用者は通所期間中に何を重視しているか～
○伊藤 純、寺田 冴、古屋敷 恒平、宮崎 千鶴子、伊東 武志、門矢 規久子、影山 航
医療法人碧江会 影山メンタルクリニック 千里リワークセンター
- P-22** 当院における発達障害者へのリワーク支援の取り組み
～再就労を目標として他機関と連携した事例を通して～
○川内 昌平、岡田 敦
一般財団法人 信貴山病院分院 上野病院
- P-23** うつ病休職者のリワークプログラムとして調理実習は有効か？
○野口 律奈¹⁾²⁾、若林 健二²⁾、小澤 咲子²⁾³⁾、大澤 美和²⁾、渡部 芳徳²⁾
1) 帝京平成大学 健康メディカル学部、2) 医療法人社団慈泉会 ひもろぎ心のクリニック、
3) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科
- P-24** 「作業療法の視点」を生かしたグループワークの取り組み
～個々の復職課題に焦点をあてたアプローチ～
○龍 章江、徳永 直也、佐藤 圭、品川 純子、前田 佐織、徳永 雄一郎
医療法人社団 新光会 不知火病院
- P-25** インテーク情報を利用したドロップアウトリスクの見立てについて
○高梨 利恵子¹⁾²⁾、土門 由紀¹⁾、山田 繭子¹⁾、馬場 洋子¹⁾、荒木 章太郎²⁾、
高橋 保子²⁾、仙頭 彩奈²⁾、綾 千晶¹⁾、満山 宏人¹⁾、伊野 ゆり子²⁾、佐々木 一¹⁾²⁾、
山内 直人¹⁾
1) 爽風会心の風クリニック千葉、2) 爽風会心の風クリニック
- P-26** 就労継続者アンケート調査から見たリワークプログラムの課題
○米沢 宏¹⁾²⁾
1) ジャパン EAP システムズ、2) 慈友クリニック

總會資料

当番世話人講演

4月23日(日) 15:00～15:30

メイン会場(4F みらいホール)

軽症化と多様性から見たうつ病リワーク

座長：五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 院長)

特別講演

4月23日(日) 13:00～15:00

メイン会場(4F 未来ホール)

就労者の自殺予防について

座長：義村 勝(ストレスケア義村クリニック 院長)

コメンテーター：田中 理香(スタジオリカクリニック 院長)

光永 享央(福岡県弁護士会 光永法律事務所)

シンポジウム1

4月22日(土) 10:00～12:00

メイン会場(4F みらいホール)

リワーク患者を細かく分析し、 治療に結びつける

座長：西村 良二(福岡大学医学部 総合医学研究センター 教授)
三木 秀樹(医療法人栄仁会 宇治おうぼく病院 院長)

企画意図

今日のうつ病に対する治療は、従来の「メランコリー型うつ病」から「多様性をもったうつ病」へ変貌した。ゆえに「自己愛」「外在化」「攻撃性」をテーマに「傷つきやすさ」を取り扱うことが必然となっている。また一方では、症状の回復が「復職」と直結しない困難な事例や課題もかかえている。ここにリワークプログラムが充実していくプロセスに治療構造の変化があると言えよう。

この年次研究会も第10回を迎えた。第9回年次研究会でも話題となった社会的に多様化するリワークの現状の今から、改めて『うつ病』の治療とリハビリテーションに焦点を当ててみた。

まずはこのシンポジウム1で、目指すべき医療リワークの在り方を共に考え深めて頂き、その後のシンポジウムにつないで頂ければと思う。

シンポジウム 6

4月23日(日) 13:00～15:00

第2会場(3F カンファレンス室 A)

特化したリワークプログラム

座長：福島 南(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 事務長・デイケア所長)

片桐 陽子(栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・きょうと)

企画意図

うつ病リワーク研究会・ワーキングチームでは、厚生科学研究でリワークプログラムの標準化をテーマに研究をおこなった。その結果、会員医療機関において様々な工夫をおこない、年々その内容が変化し多様化していることに驚かされた。

本シンポジウムでは、リワークプログラムの中でも多様化するニーズにこたえる形で発展してきた「特化したプログラム」をご発表いただき、その意義や発展を考えたい。また改めて『リワークとは何か』を論じる場ともしたい。

専門職シンポジウム

一般演題 ポスター発表

4月22日(土) 13:30~14:15

ポスター会場(みらいホールホワイエ)

特別セッション

4月23日(日) 9:30～12:00

メイン会場(4F みらいホール)

これまでのリワーク これからのリワーク

座長：五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 院長)

森田 哲也(㈱リコー コーポレート統括本部 H&S 統括部 グループ総括産業医)

企画意図

2008年3月にうつ病リワーク研究会が発足し、その活動の一環として厚生労働科学研究を中心にその他各種の調査研究を受託してきた。平成20年7月27日に第1回会議を不知火病院で開催し、その後9年間にわたりワーキングチームを編成し研究活動を行ってきた。9年間で合計47回の会議を開催し、チームメンバーはこれまでの合計43名、平成28年度メンバーは19名である。

その活動範囲は多岐にわたるが、いずれもリワークプログラムを充実させ発展させることを第一義的な目的として活動してきた。これまでの活動を総括的に概観すると以下の領域での調査研究に分けられる。

- 1) リワークプログラムの標準化並びに多様化への対応としてのモデル化、施設認定に関する検討
- 2) スタッフ及び管理者に対する教育のためのシステムや教材の開発、スタッフ等研修体制および認定システムに関する検討
- 3) リワークプログラムの普及啓発活動と地域の諸機関との連携の在り方の検討
- 4) リワークプログラムの就労予後やアウトカム研究
- 5) 会員医療機関の基礎的な調査、その他

本シンポジウムでは各ワーキングチームより4つの領域での研究結果を概括的に報告してもらう。今後の当研究会の主要な事業と位置づけられる委員会活動に継承する機会としたい。

ランチョンセミナー

第10回うつ病リワーク研究会年次研究会
プログラム・抄録集

発行日：2017年□月□日

事務局：医療法人社団 新光会 不知火病院リハビリテーションセンター
〒836-0004 福岡県大牟田市手鎌1800
TEL：0944-41-4630 FAX：0944-51-4005
E-mail：utu-rework@shiranui-byoin.or.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<http://www.secand.jp/>